

みらい平地区新設中学校の学区に関する説明会 <質疑要旨>

○質疑回答一覧

■学区に関すること

質 疑	回 答
谷和原中学校を残すことは審議会で意見が出たのか？	審議会でも意見が出ましたが、富士見ヶ丘小児童が新設中学校に入学しますと、谷和原小児童と福岡小児童となり、少ない生徒数となることから新設中学校の学区とすることとしました。
学校は大きすぎても小さすぎても良くないと思うが、バランスの取れた生徒数となるような学区にはできなかったのか？	みらい平地区の2つの小学校が通学できる新設中学校を要望する声が多く、1つの小学校のみを通学区とするのは難しい状況であったため、今回の学区の方針となりました。
中学2年生、3年生が卒業するまで谷和原中学校と併存することはできないのか？	中学2、3年生のみが残ることで教育活動に制限が出てくる部分がありますので、基本的には新設中学校に行っていただくことになります。 ただし、入学時から他の中学校を選択できる制度などの柔軟な対応ができるようにいたします。
学区の最終決定はいつ頃になるか？	今回の保護者説明会を踏まえて最終的に学区を決定していくのは、今年の9月末を予定しています。

■中学校の選択に関すること

質 疑	回 答
新設中学校が開校したときに、中学2・3年生となる生徒は他の中学校を選択できるか？	新設中学校の学区の生徒については、基本的には新設中学校に行っていただきます。 ただし、伊奈中学校に残ることも可能とし、また、大規模校となる新設中学校にご心配がある場合は、入学時から他の中学校を選択可能とする制度を設ける予定です。
中学校の選択は市内か？市外も可能か？	市外の場合は、各自治体の要件によりますので、市内の中学校を選択できるようにします。
陽光台小学校、富士見ヶ丘小学校に学区外から通学している児童がそのまま新設中学校に通学できるようにする理由は？	小学校の時点で友人関係が築かれていること等から、中学校においても学校生活に早くなれるために同じ学校に通学できる配慮をすることとしました。
これまで統廃合で学校が統合した時には、人間関係のトラブルなどが生じることが多かったと感じている。陽光台小学校の児童が入学から伊奈中学校と谷和原中学校を選択できるようにしてほ	ご意見ありがとうございます。 中学校入学の時から選択できるような制度を検討しています。

しい。	
-----	--

■新設中学校の建設に関すること

質 疑	回 答
新設中学校を建設することになった経緯は？	谷和原中学校では校舎を増築することで対応してきましたが、みらい平地区の予想以上の生徒数増加により、既存の中学校の規模では受け入れが難しく対応しきれないこととなったことから、新設中学校を建設することとなりました。
生徒数は、減少していく推計である。このまま伊奈中学校と谷和原中学校で通学させてもいいかと思うが、新設中学校を建設する理由は？ 審議会では、陽光台地区では新設中学校を望む声があり、新設中学校区として崩せないという意見があるが、谷和原中学校にいくことを希望してこの地区に住む方もいるので、尊重してほしい。	推計では開校後に緩やかに生徒数が減っていますが、谷和原中学校では生徒数増加には校舎を増築して対応しましたが、令和9年には教室数が不足することになり、新たに中学校を建設することとなりました。
谷和原中学校を閉校して、新設中学校を建設することとなった理由は？	まず、みらい平地区に中学校を新設することを決定し、その後に学区について検討していく中で、谷和原中学校については、富士見ヶ丘小学校区の生徒を除くと、谷和原小と福岡小学校区の生徒では1学年1クラスの小規模な中学校になってしまうことから、谷和原小と福岡小学校区も今回の新設中学校の学区にするという判断をさせていただきました。
なぜ富士見ヶ丘地区に中学校を建設することになったのか？	みらい平地区の都市計画の中で、小学校2つ、中学校1つの用地がそれぞれ用意されていたため、その位置に建設することとなりました。
ユニット型教室とは、廊下と一緒にしたデザインか？ また、100名程度を1人の先生でみるということか？	3教室で1ユニットとすることや、間仕切りで教室ごとに区切れることとなっています。少し広く使いたい時には、多目的スペースを利用できるような設計となっています。なお、廊下については、ユニットとは別のところにあります。 また、基本的には教室ごとに先生がおられますので、1ユニット100名程度を1人の先生でみるということではありません。
昇降口の広さについて気になる。子どもたちが多感な時期になるので、人と人が触れ合うところで嫌がる子どもも出てくるのではないかと？	昇降口については、1箇所ではありますが、他のところからも入れるような工夫を考えているところです。
駐車場はあるか？	新設中学校の駐車場は、約120台分を予定して

	います。
プールの建設は決定か？委託などの運営は考えているか？	プールについては、夏場の激しい暑さによって授業ができなかったり、また、市内の学校プール全体の老朽化が進んでおり、すべてを改修すると莫大な費用がかかることや、近隣市町村では、民間プールを活用したりしている事例もあることから、市教育委員会として、今後のプールのあり方を現在検討しているところです。また、新設中学校のプール建設についても現在検討中ですので、方針が決定次第お知らせいたします。
令和9年4月開校が遅れる可能性はないか？	絶対とは言いきれませんが、開校が遅れることがないように進めています。
何十年後かにみらい平地区が高齢化や人口減少した時には施設の活用はどう考えているか？	市としては、できるだけ人口が減少しないように努めておりますが、生徒数が減少してしまった場合や特別支援が多くなってきた場合などでも、教室についてはフレキシブルに活用できるようになっていますので、使い方を変えたりして対応できるように考慮した設計としています。
学校建設のパブリックコメントの実施について、学校を通じて周知されたか？	中学校建設のパブリックコメントについては、昨年の5月に1ヶ月ほど、実施しましたが、周知方法としては、市ホームページや市広報でのお知らせをしました。

■中学校の生徒数（大規模校）に関すること

質 疑	回 答
新設中学校の規模について、将来的に教室数が不足することはないか？ 今後建設されるマンションなどは推計に加味されているか？	今後建設予定であるマンションなどを加味した推計となっています。施設としては、推計上限の生徒数が受け入れられる教室数で設計しています。なお、実際の生徒数については、私立などの他の中学校に進学する生徒もいますので、推計よりも少なくなることはあるかと思います。
資料では、2027年で2189名となっているが、施設は1500人規模となっている。全員が入ることができるのか？	資料では、小学校6学年の人数であり、中学校では3学年となるため、この人数よりは少なくなります。また1500人は最大規模としての収容人数であり、令和9年度はおよそ1300名程度となっており、また、そこから私立など他の中学校に進学される方が例年いますので、人数はもう少し減少すると思います。
1200人の富士見ヶ丘小学校では学校全体での	1500人は新設中学校の受け入れできる最大規

学校行事ができていないが、1500人規模の中学校の学校行事など、学校生活はどうなるか？	模であり、生徒数の推計としては1300人程度、また、その中から私立等の他の中学校に進学される方もいるかと思います。 学校行事などについては、生徒皆さんがより充実した学校生活が送れるように生徒と教職員が話し合い、検討をしていきます。
1500人規模という大規模校になり、柔軟な教育ができるようなソフト面での対応としては何か考えているか？	一人一人の生徒への適切な指導や対応ができるよう教職員の配置を考慮していきます。各階には職員室を設け、学年ごとのまとまりをもたせ、先生方の目が届きやすいような体制を築いていきます。教科担当や特別支援学級担当など、各教科領域部会の職員数も増えるので、充実したカリキュラム作成や研修ができると考えます。 今後も先生方ともより良い教育の対応を考えていきたいと思っています。
大規模校となった際の教職員の確保についてはどうなるか？	教職員数については、学級数に応じて、県での配置人数が決まっています。 また、谷和原中学校が閉校する場合は、その際に新設中学校に異動される先生が多くなるかと思っています。また、伊奈中学校からも同様に多くの先生が新設中学校に異動されるようになるかと思っています。 なお、教科によっても先生の人数が決まってきますが、できるだけ多くの教職員が適切に配置されるように県に要望をしております。
外国人など日本語があまり話すことができない子が多くなっている。また、特別支援学級や学級に入らなくても児童生徒が多くなっているが、大規模校になると人数が多くなり、生徒や先生の負担が増えてくると思うが、負担を少なくする対策はあるか？	人数については、安心して子どもたちが通学できるように教職員の人数を確保できるよう努めてまいります。 外国人が増えているということで、日本語が難しい子には、日本語ひろばのボランティアや英会話教室の講師に来ていただいたりしていました。 また、県では、外国人が10名いると先生が1名加配でつきますので、これからの課題ではあると思いますが、そういう方法もあります。 特別支援については、富士見ヶ丘小学校では1200人の児童がいて、特別支援も6～7教室ほどあります。新設中学校では10教室を予定していますので、その分の先生方も配置していきたいと考えています。

小規模校の基準は？ 多様な学びなど、なるべく小規模での教育とされている中で今回大規模校とした理由は？	小規模校というのは7～11クラス程度であり、谷和原中学校は4クラス程度と下回ることになります。小規模校の良さも承知していますが、人間関係に何かあった際には、クラス替えができないということ等がありますので、今回新設中学校に行くこととしました。
大規模校のメリット・デメリットは？	大規模校については、審議会でも様々なご意見をいただきました。その中では、施設面、運営面それぞれでの対応をしていくように審議が進められました。例えばその1つとして、3教室を1つの集団としてみるができるユニット型の教室配置として、3クラスごとにまとまりをもたせることができる工夫や、また、教職員数についても、人数確保ができるように対応していきます。 また人数が少なくなることについては、学校の団体での活動がかなり制限されてしまうことが考えられます。今後人数が多い高校や社会に出るときには、その環境に慣れていただくことなどを考え、小規模より大規模校としての対応をしながら進めていく方が良いのではないかととなりました。
大規模な学校になるため、他自治体での同規模の中学校の生徒や保護者にメリットやデメリットなどの状況を聞いていただき、今回の対象となる保護者に情報を共有してほしい。また、デメリットが出てくれば、どのように対応するか説明があれば保護者も安心して通学させることができると思う。	ご意見ありがとうございます。ご要望としてお受けいたします。
これから開校準備委員会で検討していく中で、新設中学校が開校する前に、先生方に大規模校におけるオペレーションの方法などを教えていただくなど、当初から運営が上手くいくように整えていただきたい。	ご意見ありがとうございます。ご要望としてお受けいたします。

■新設中学校の開校準備委員会に関すること

質 疑	回 答
開校準備委員会の委員は、どのような方が選出されるか？	委員には、学校の関係者として、学校の先生や保護者には当然ご意見をいただきたいと考えていますので、こちらを踏まえて、これから委員構成を考えていきます。

開校準備委員会にはこれから入学する児童も入れてほしい。	ご意見ありがとうございます。ご要望としてお受けいたします。
谷和原中学校の移転にはできないか？（運営面など谷和原中学校のものを活用できないか？）	学区が決まり次第、中学校の運営面として、どういった制度とするかなど、開校準備委員会での検討を進めていきます。
今後の開校準備委員会で検討していく内容の詳細は保護者に説明されるか？	現在は学区をどうするかというところですので、学区が決まり次第、開校準備委員会を開催して検討を進め、保護者の皆様にはその都度お知らせしていきたいと思います。

■通学に関すること

質 疑	回 答
通学路の周辺環境の整備については、考えていただいているか？	学区が決定しましたら、開校準備委員会にて、より安全に通学できる通学路を早めに検討していくことにより、通学路となる箇所の安全確保に向けて整備等の対策を進めてまいります。
みらい平地区から伊奈中学校や谷和原中学校の通学路について、危ないなと感じるところが多い。自転車通学での事故はあったか？	事故の報告は受けているが、命にかかわるような事故はこれまでありませんでした。
現在の中学生は徒歩や自転車通学となっているが、新設中学校での自転車通学の距離の目安など基準が現時点で決まっているか？	現時点では、自転車通学の基準は決まっていますが、新設中学校が富士見ヶ丘小学校に近いことや、部活動等も踏まえ、開校準備委員会で今後検討を進めていきます。
通学路として、農道が多かったり、福岡地区ではグリーンゾーンでは20cmほどしかないところを通学していることもある。どこを通学路とするかの考え方は？	道幅や交通量などを踏まえてどこを通った方が良いかがあり、地区によって状況が違うかと思います。新設中学校の通学路についても、今後の開校準備委員会で検討していきます。また、通学路については、学校や警察などと定期的に点検を行っていますので、今後も安全確保について努めてまいります。
安心した通学ができるようにしてほしい。 コミュニティバスを福岡地区にも出してほしい。	通学路については、安心して通学できるように、どこを通学路とするか等、開校準備委員会で学校の先生や保護者の方々と準備を進めていきます。 また、公共交通についてですが、今年4月から福岡地区を含め、全地区にコミュニティバスの運行が開始しました。小学生には無料で乗れる乗車券を配付しています。 福岡地区では、本数が少ないかもしれませんが、

	みらい平駅や生活圏であるみどりの駅に向かうルートの運行を行っています。 また、デマンドタクシーも空いていれば1時間前までに予約が可能であるので、こちらもご活用いただければと思います。
登下校の安全パトロールなどで保護者が協力しなければならないことが出てくるか？	現在は、朝の立哨など、保護者やボランティアの方々に実施していただいています。 新設中学校でも同様に実施していただくのか、また新たな方法を考えていくのかは今後の開校準備委員会にて検討していきます。

■制服、体操服に関すること

質 疑	回 答
制服や体操服など新しいものにすると保護者の負担につながる。	制服等については正式には開校準備委員会での検討にはなりますが、新しいものの以外でも使用できるように配慮をしたいと考えています。
制服や体操服について、今後の開校準備委員会で決まってくると思うが、新しいものになったときに買い直す必要が出てくるかということまで開校準備委員会で決定していくのか？ また、いつ頃までに決定され、決定された内容の説明会の時期は？	元々持っている制服等が使用できるような柔軟な対応がされるよう開校準備委員会で検討を進めていきます。 時期については、検討期間がこれからであるため、はっきりとは伝えられないが、決定次第、説明をさせていただきます。
制服や体操服は、例えば兄弟のおさがりなども使用したいこともあると思うが、どうなる予定か？ また、体操服に名前を書かないようにする学校があるが、そういう対応になるか？	制服や体操服については、開校準備委員会での検討を進めていきますが、保護者の皆様の負担などが軽減できるように、数年間は現在使用しているものを使用できるような柔軟な対応ができるようにしていきたいと考えています。 名札については、学校での判断になりますが、学校や保護者の皆様との話し合いの中で決まってくるのではないかと思いますので、市から一方的にこうしてくださいということはありませんのでご安心ください。
谷和原中学校の体操服をそのまま新設中学校に取り入れることは可能か？	今後開校準備委員会でご審議いただく内容となっていますが、例えば数年間は現在の体操服等を使用できるような柔軟な対応ができるようにしたいと考えています。
新設中学校に行くことになるのであれば、谷和原中学校の体操服は刺繍で入っているので、予めゼッケンにさせていただくなど、保護者の負担を減	ご意見ありがとうございます。ご要望としてお受けいたします。

らしてほしい。	
制服については早いうちに決めてほしい。 また、多感な時期の子どもたちなので、制服がバラバラだと、どこの中学校から来たなどが分かったりするの、できれば制服を購入できる補助金などができるとうれしい。	ご意見ありがとうございます。ご要望としてお受けいたします。

■部活動に関すること

質 疑	回 答
伊奈中学校と谷和原中学校から集まることになると、部活動の団体競技などは環境が変わることになる。学校生活や部活動での環境が変わらないような配慮をしてほしい。	ご意見ありがとうございます。 部活動についても柔軟に対応できるように検討していきたいと考えています。
開校時に中学校3年生となるが、部活動は既存の伊奈中学校の部活と同じ部活ができるなどの配慮はしていただけるか？	部活動については、今後の開校準備委員会での検討となりますが、開校時に中学校2・3年生となる生徒は、そのまま伊奈中学校に残れるような制度や、入学時から他の学校に通学できる制度などを検討しています。
高校にスポーツ推薦で入学する子もいると思うが、中学校でのクラブ活動への配慮については考えられているか？	部活動だけでなく、クラブチームに入る方もいます。今後の開校準備委員会でどういうあり方が良いのか検討を進めていきます。

■谷和原中学校に関すること

質 疑	回 答
谷和原中学校が閉校した後の跡地利用は？ 部活動などでグラウンドを利用したりできないか？	学区が決定後に、谷和原中学校の跡地利用については、検討していきます。 また、部活動については開校準備委員会での検討となりますが、谷和原中学校の活用についても検討をしていきます。

■義務教育施設の適正配置に関すること

質 疑	回 答
小絹中学校の義務教育施設適正配置について、 今後はどう考えているか？	適正配置審議会では、将来的に2～3校が望ましいという答申をいただいているが、具体的な場所は定めていません。今後の小絹中学校の推移も見なければならぬが、現在は明確な方針は出ていない状況ですので、現状維持となっています。
つくばみらい市立義務教育施設適正配置審議会	審議会については、市教育委員会から考えてい

は現在も継続して活動されているか？	ただきたいことが発生したときに、その都度、諮問を行い、答申をいただいて解散となります。
-------------------	---

■学校行事、PTAに関すること

質 疑	回 答
修学旅行は中学校3年生のときにあるのか？	まだ学区を決めている段階であり、現時点でははっきりとは回答できませんが、今後の開校準備委員会で検討していきます。
先日の福岡小学校の運動会では、アットホームで一人ひとりが主役となる素晴らしい運動会だった。人数が多いことにより制限されるのではなく、充実したものにしてほしい。	学校行事については、開校準備委員会の中で内容の検討を進めていきます。人数が少ないことでの良さも承知していますが、小規模で学校行事が制限されることもあります。小規模と大規模どちらにも良さはありますので、より充実したものとなるように検討を進めてまいります。
PTAの活動について、小学校単位での役員選出を行っていると聞いているが、福岡小から5人選出するのと、富士見ヶ丘小から5人選出するのは負担の差が違うので、学校規模で差がないようにしていただきたい。	ご意見ありがとうございます。PTAについては開校準備委員会で、学校の先生や保護者の方に委員となっただき、そういったことを考慮して検討を進めていただきます。

○開催日程

保護者説明会

- ・令和6年5月25日(土)午前10時～ 谷和原小学校体育館
- ・令和6年5月25日(土)午後 2時～ 陽光台小学校体育館
- ・令和6年5月26日(日)午前10時～ 福岡小学校体育館
- ・令和6年5月26日(日)午後 2時～ 富士見ヶ丘小学校体育館
- ・令和6年6月 1日(土)午前10時～ 谷和原公民館大会議室(谷和原中学校保護者対象)
- ・令和6年6月 1日(土)午後 2時～ 伊奈庁舎会議室(伊奈中学校保護者対象)

地域住民説明会

- ・令和6年6月6日(木)午後7時30分～ 谷和原公民館大会議室
- ・令和6年6月7日(金)午後7時30分～ みらい平コミュニティセンターsupported by 成島建設